

情報コーナー

ひたち花見寄席

<多賀市民会館 2階大ホール>

と き 3月29日(木) 開場 17:30 / 開演 18:00

出演者 柳家権太楼、伊藤夢葉(マジック)、古今亭菊之丞、
入船亭扇遊、鏡味仙志郎(太神楽)、柳家さん光

<日立シビックセンター2階多用途ホール>

と き 3月30日(金) 開場 18:00 / 開演 18:30

出演者 三遊亭小遊三、林家正楽(紙切り)、初音家左橋

<お問合せ> 日立シビックセンターチケットカウンター TEL 0294-24-7720

日立市民会館 TEL 0294-22-6481 多賀市民会館 TEL 0294-34-1727

主催 公益財団法人日立市民科学文化財団

<チケット> 2月3日(土) 10:00 から発売

◆1日券 2,000円

◆ペア券 3,000円

◆親子ペア券 2,500円

◆2日間通し券 3,000円

※全席指定

ペア券、親子ペア券は3/29公演のみ取り扱い

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2018年2月～2018年7月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
フレンドリー あんず	ジャマイカ料理	2月11日(予定)	女性センター調理室	0294-35-1151(今野)
	桜まつりを楽しむ会	4月7日 11:00	国際交流サロン	
	塙山ごっじやっぺ市出店予定	4月29日	塙山交流センター	0294-21-4150(福地)
	夏祭り ★	7月8日(予定)	会瀬青少年センター	
国際交流 ボランティア ネットワークさくら	第31回さくら講演会 ★ 内容:南コーカサスの国 アルメニア	3月3日 13:30～15:30	日立シビックセンター 5階502号	0294-34-6257(臼井)
日立ユネスコ 協会	「わたしの町のたからもの絵画展」茨城県総合巡回展 in 日立	2月7日～12日	イトーヨーカドー日立 店5階展示スペース	0294-35-6034(藤原)
	世界の料理教室	6月	会瀬交流センター	
カンボジアの子供 達に夢と希望を 贈る市民の会	小学校・里子訪問の旅	3月8日～	カンボジア	090-4177-5393(菊池)
	少年サッカー大会の開催	7月6日～	カンボジア	
日中友好協会	春節祭を祝う会	2月17日 16:00	日立市民会館	090-2531-5444(白土)
フレンドシップ・ キルト展 実行委員会	第14回 フレンドシップ・キルト展 ★	2月28日～3月4日	日立シビックセンター 1階ギャラリー	0294-22-3111 (日立市市民活動課)

活動記録 (2017.11.1～2018.1.31)

- ◆活動推進部会 (定例会)
- ◆広報部会
11/24、12/15、1/19
- ◆20周年記念事業担当グループ打合せ
ステージ、民族衣装 12/27
展示 12/28 飲食 1/19
平成29年度会員 165人
活動推進部会 33人

編集後記

2018年の本年、この会が1997年春に発足してちょうど20年が過ぎました。当時は、日中国交正常化25周年でもあったので記念として人間・鄧小平写真展、劉徳有講演会や中国中央民族楽団の演奏会などが盛大に開催されました。懐かしい思い出となりました。
さて、20年経った現在、アジアの人々とお互いの国を理解して交流ができるようお願い、発足20周年記念事業として8月25日(土)に日立シビックセンターでイベントを開催予定です。嬉しい催しとなるよう多くの方々グローバルにかかわりたいと願っています。みなさまのご来場をお待ちいたします。(阪井記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでも ご覧になれます。http://www.civic.jp
連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで
TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp

ひたちとアジア

第58号

2018年(平成30年)2月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

第15回ひたち国際文化まつり 会場を変えて交流の輪をひろげました!

多賀市民プラザで開催

市民の皆さんにしっかりおなじみとなった「ひたち国際文化まつり」は、今年で15回目を迎えました。今年日立市内の国際交流にかかわる6団体の共催、市内の高校、大学等の協力や多くの後援をいただき、11月11日(土)をメイン日として開催しました。会場は、日立シビックセンターが改修工事のため、初めて多賀市民プラザで開催されました。6月から実行委員会を始め、多賀市民プラザを管理する大久保交流センターのスタッフにも参加いただき、賑やかに開催し、交流の輪をひろげることができました。



さまざまなイベント風景:「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの絵画展」表彰式

第27回外国人の皆さんの日本語意見発表会/中学生による英語発表/外国人による生け花

1階 Information & Exhibition Zone

クイズラリー(スタート・ゴール)

入り口は、クイズラリーのスタート・ゴール地点になっていて、5つのコーナーを回ってクイズに答えると、参加賞としているいろいろな文房具をもらえました。また、アンケートにもいつもより多く答えていただきました。

1階 Exhibition Corner 展示コーナー (11/8～12)

日立ユネスコ協会の16回目となる「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの絵画展」が開催され、市内の小学校、中学校の子どもたちの絵画が、ギャラリーと小ホールいっ

ぱいに展示されました。例年よりは場所の都合で点数は少なくなったのですが、その中から優秀作品20点が表彰され、日本ユネスコ協会連盟会長賞には日立風流物を題材にした日立市立駒王中学校3年生の竹山岬希さんの絵が選ばれました。

<その他の展示>

- ◆私の国のたからもの絵画展(日立市の国際親善姉妹都市タウランガ市の子供たちが描いた絵)
- ◆日立国際交流協議会コーナー
- ◆カンボジアコーナー

2階 Talking Zone & Food Zone
日本語意見発表会 国際屋台村

大ホールでは、「外国人の皆さんの日本語意見発表会」が、国際交流ボランティアネットワークさくらにより行われました。中国、フィリピン、ベトナム、アメリカ、韓国、イギリス、インドネシア出身の11名が日本語で環境、家庭、平和、教育等に関するテーマで発表しました。聴衆の投票により、さくら賞には、来日2年6ヶ月のフィリピン人企業研修生ベニテスさんの「私たちにできる環境改善」が選ばれました。毎年のごとく、各発表とも大変興味深く、日本について気付けられることがあります。投票集計時には、柳内芸術音楽院主による剣舞・琴とバイオリン演奏がおこなわれました。表彰式のあとには、発表者の皆さんとの交流及び意見交換が行われました。

会議室201号の「国際屋台村」では、フレンドリーあんとと当会が、タイ、韓国、フィリピンの料理をつくり販売しました。ちょっと辛いガバオライスやビビンバ、チヂミ、フィリピン風春巻きやおなじみのリッチフランなど、用意したすべての料理は完売しました。

3階 Culture Zone 文化紹介

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会20周年記念展」が301・2号室で開催されました。当会の20年の歩みを紹介するとともに、この「ひたち国際文化まつり」過去14回のポスターを展示しました。

和室では、日立茶道連盟の協力により、茶道の体験が行われ抹茶と和菓子を頂きました。



4階 Culture & Consultation Zone
文化紹介 在住外国人向け生活委相談会

工芸室にて、フレンドリーあんとによりアジアの民芸品の展示販売が行われ、来場者にはインドの紅茶が提供されました。また、日本文化紹介として生け花体験も行われました。「アジアンバザール」では茨城キリスト教大学の学生によりカンボジア等の石鹸やスカーフや雑貨類が販売されました。

401~4号室では通訳(英語、中国語、タガログ語、ベトナム語)も入り、弁護士による在住外国人の生活上の悩み、トラブル等の相談会を実施しました。今年は4件の相談が行われました。

405~7号室では、日中友好協会により映像による中国文化紹介、漢字遊び、写真による中国世界遺産紹介が行われ、中国茶の接待によるものも好評でした。日中友好の懸け橋にこの思いが感じられました。また、午前中には、市内の中学生が英語で日立市の紹介を行いました。中学生は、福島にある「ブリティッシュヒルズ」での英語研修体験者で、流暢な英語で発表していました。



4階エレベーター前では、フレンドリーあんとにより、校舎建設に寄与されたラオス北部ルアンパバーン県の子供たちの村にできた小学校の子供たちの写真が展示されました。

各会場には、フレンドリーあんとが行っている「外国人のためのいけ花クラブ」で生け花を習っている外国出身の方々による花が飾られ、華やかな雰囲気を醸し出していました。また、今年も日立二高生が各コーナーにボランティアスタッフとして参加しました。先生方も交代で対応していただき、大変助かりました。

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2017年9月~

◆韓国映画祭2017に参加

9/23 新潟市「生涯学習センター」にて開催された、映画「かけはし」を鑑賞。主催は駐新潟大韓民国総領事館。内容は、2001年1月JR新大久保駅で線路に落ちた日本人男性を助けようとした、日本人男性と共に線路に飛び降りて死亡した韓国人留学生スフィオンさんにまつわるドキュメンタリー。民間国際交流の大切さを改めて再認識しました。

◆日立二高へ お礼訪問

11/28 ひたち国際文化祭りの各コーナーでのスタッフとしてのボランティアに対するお礼を目的に訪問。担当の黒沢先生に対応いただきました。日立二高の学校経営計画表には「国際理解教育の推進と国際人としての素養の涵養」という重点目標もあり、来年度についてもボランティアでの参加をお願いしました。

カンボジア通信 第4シリーズ NO.5

元青年海外協力隊(理数科教師)・現在農業プロジェクト調整員 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後カンボジアに渡航し、教員養成校の理数科教師として活動し現在は農業関係のプロジェクトに従事されています。

前号では、農家を搾取から守るために農協の存在が不可欠であることを述べました。カンボジアの農協はごく小規模の信用事業を中心に行われていますが、これ以外にもビジネスを志向した農協作りのための支援も行っていますので、これらをいくつか紹介します。

1. 肥料の共同購入事業：農協が組合員それぞれの希望を調査した上で、肥料のまとめ買いを行うことで、単価を安くすることができます。また、農協という組織として取引をするため、後払い対応が可能になることで、肥料会社の重量のごまかし、劣等品の混ぜ物などのちょろまかしが減ってきています。肥料の無料運搬もしてくれるようになり、農家の人たちも農協の存在意義を少しずつ理解しているように見えます。私は、肥料会社と農協とのマッチングを行い、マーケット価格の調査を支援したりして、農協にとって、できるだけ多くの取引先を選択肢にもてるような支援を行っています。

2. トラックやトラクターの共同利用事業：農協が持っているトラックを使って、組合員農家が共同出荷を行うため、レンタカーよりもコストを抑えることができます。また、マーケットリサーチを行ってから農作物に適正な価格を付けるため、今までのように仲買人に安く買いたたかれていたことを防ぐことができます。また、田畑を耕すことを組合員で助け合って行うため、そこでコミュニケーションが生まれて組合員同士で教え合い、トラクターの正しい使用方法、耕作の効率化が達成できます。

これらのほかにも、農協の施設を地元の子供たちの塾として場所と教師を提供し、組合員の子供たちが無料で勉強をできる環境を作っている農協もあります。また、農協と肥料会社、農薬会社、食肉加工会社、マイクロクレジット(農家に対する少額貸付を行う金融機関)を招聘してビジネス・ネットワーク・フォーラムを開催し、農協に様々なビジネスの方法を紹介する場を設けました。



日本製のトラックが好まれて使われています

◆茨城大学工学部外国人留学生・地域団体交流懇談会参加

12/13 茨城大学の外国人留学生は全学部で約300人。その内、工学部は約140人。国内の少子化を踏まえて留学生を増やしたいという意向。中国人留学生による体験談発表等に続き、参加者と留学生との立食懇談会が行われ、交流を深めました。

◆フレンドリーあんと年忘れ文化交流会に参加

12/17 会瀬交流センターにて開催。参加者は約100名。開会宣言の後に会長挨拶、来賓挨拶。その後ステージで「ひたち国際文化まつり」の日本語意見発表会でさくら賞を受賞したベニテスさん(フィリピン)による日本語意見発表、花笠おんど踊り、中国古典舞踊、インド舞踊、ギター演奏などがあり、ゲーム、抽選会、記念撮影と大変盛り上がった会でした。